

令和6年(2024年)3月 城陽市 企画管理部 秘書広報課

目 次

第1章	城陽未来まちづくり会議の実施概要1	頁
第2章	議論に向けて4	頁
第3章	各班のグループワーク、発表内容 5	頁
第4章	まとめ21	頁
第5章	資料編 24	頁

第1章 城陽未来まちづくり会議の実施概要

1-1 会議開催の目的と位置づけ

城陽未来まちづくり会議は平成 26 年度(2014 年度)から始まった取り組みです。これまで行政に声を届ける機会が少なかった市民の方に、市政への参加を促し、その意見を市政に取り入れること、またそのことを通じて市民意識の高揚を図り、市民活動の担い手の掘り起こしにつなげることを目的に開催しています。従って、会議での意見については、諮問に対する答申や提言といったものではなく、「幅広い市民の声」として位置づけられるものとなります。

1-2 参加者について

(1)参加希望者の選定

住民基本台帳から 18 歳以上の市民 1,800 人を無作為に抽出し、城陽未来まちづくり会議への参加依頼書を送付しました。あわせて会議についてのアンケート調査を実施しました。

(2)参加募集の人数

参加募集の人数は55人です。城陽市(以下、「本市」)が京都と奈良のほぼ中間に位置し、古くから「五里五里の里」と呼ばれることにちなんで、55人としました。

(3)参加者の決定

参加依頼の結果、52人から参加承諾をいただき、参加者として決定しました。 参加決定した52人のうち、当日は35人が参加されました。

(4)参加者の属性

(単位:人)

	久津	訓	古	Ш	寺	田	寺E	田南	寺日	日西	深	谷	久	世	今	池	富	野	青	谷	合計
	男性	女性																			
10~20歳代	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	8
30歳代	1	1	0	2	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2	1	0	0	3	1	2	17
40歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
50歳代	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
60歳代	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
70歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳代以上	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
男女別計	1	2	2	2	1	4	0	0	3	4	0	1	0	2	1	0	3	4	2	3	35
総計	3	3	4	1		5	()	-	7		1	2	2		l		7	ļ	5	33

1-3 城陽未来まちづくり会議の概要

テーマ:「あったらいいな~子育て編~」

開催日:令和6年(2024年)2月3日(土)

10:00~12:00, 14:00~16:00

(同じプログラムを午前の部、午後の部でそれぞれ実施)

開催場所:オンラインにて開催

会議形式:城陽市で子育てをする上で、どのような環境が望ましいか、また、そのた

めには行政からどのようなサポートがあればよいと考えるかについての事 前アンケート結果をもとに、各回とも参加者を 4 班に分け、班ごとに意見

交換を実施

会議内容:班ごとのアイデア出し、意見交換、意見の集約、発表

本会議は、令和元年度まで対面形式で実施してまいりました。幅広い年齢層から意見をいただくために開催するものですが、若年層の参加率が低く、課題となっていました。そんな中、昨年度は新型コロナウイルス感染症による影響を鑑み、オンライン形式で開催したところ、若年層の参加率が高くなり、幅広い年齢層からの意見を聴取することができました。また、参加者アンケートにおいても、本会議における意見交換は有意義であったという意見も多くあったことから、今年度もオンライン形式で開催することとしました。

なお、インターネット環境がない方については、市役所にお越しいただき、機材を 貸し出すとともに、使用方法などのサポートを行い、参加いただきました。



【現地参加者の様子】

1-4 会議の流れ(午前の部、午後の部とも共通)

前半は、テーマに関する基本的な情報などについて解説したあと、各班においてファシリテーターによる進行のもと、「子育てをする上で望ましい環境」、「城陽市で子育てをする上で課題と感じること」について意見交換を実施しました。

後半は、各班で前半の内容をふまえて、「城陽市に対して期待する施策や事業など」について話し合ったあと、内容をまとめ、順番に発表を行いました。

1-5 タイムスケジュール

午前の部	午後の部	内容
9:30~ 10:00	13:30~ 14:00	参加者受付(オンライン会議、現地参加者)
10:00~ 10:05	14:00~ 14:05	会議スケジュール確認、進め方について説明
10:05~ 10:10	14:05~ 14:10	事前配布資料 「国および城陽市の子育て支援施策」について説明
10:10~ 10:20	14:10~ 14:20	班内での自己紹介、グループ発表者の決定
10 : 20~ 10 : 40	14 : 20~ 14 : 40	グループワーク 「子育てをする上で望ましい環境」について意見交換
10:40~ 11:10	14 : 40~ 15 : 10	グループワーク 「城陽市で子育てをする上で課題と感じること」、 「城陽市に対して期待する施策や事業」について意見交換
11 : 10~ 11 : 35	15 : 10~ 15 : 35	グループワーク 班発表に向けて、各班で出てきた意見や考えをまとめる
11 : 35~ 11 : 55	15 : 35~ 15 : 55	各班による発表
11:55~ 12:00	15 : 55~ 16 : 00	総括、アンケートの説明、閉会挨拶

2-1 事前に配布したワークシートの活用

当日、スムーズな議論や意見交換を行うことができるよう、参加者にワークシートを事前配布し、「子育てをする上で望ましい環境」、「城陽市で子育てをする上で課題と感じること」、「城陽市に期待する施策等」について、それぞれ10個の項目に分け、ご自身の考えを整理する際に活用いただきました。

項目	子育てをする上で、どのような 環境が望ましいと思いますか	城陽市で子育てをする上で、 何が課題と感じますか	城陽市に期待する 施策等をお聞かせください
妊娠・出産の支援			
仕事と家庭の両立支援と 多様な働き方への理解促進			
安心、安全な環境整備			
地域ぐるみでの 子育て支援			
教育の充実			
子どもの健康の支援や 医療体制の充実			
児童虐待への 対応施策の充実			
障がいや発達に 課題のある子への支援			
子どもの貧困・ 生活困窮者対策の充実			
その他			

【午前の部】1 班

■子育てをする上で望ましい環境

「妊娠・出産・産後の支援」、「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」に 関する意見が多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

「妊娠・出産・産後の支援」、「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」に加えて、「安心、安全な環境整備」、「教育の充実」、「子どもの健康の支援や医療体制の充実」に関する意見が多くみられました。

項目	子育てをする上で望ましい環境	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・産科があること。・産後のケアにかかる費用の補助。・陣痛タクシーの利用条件の緩和。	・産科がない。・産後相談にかかる1回当たりの費用が高額。・陣痛タクシーの利用者が低所得者に限られたり、タクシー会社によって条件がある。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・お金に困って諦めることがないよう、収入を安定させる施策。・朝早くから預かってもらえる保育園。・学童保育の充実。・子どもの送り迎えを企業と連携。	・子どもの急な送り迎えなどで、パート勤務になると収入が少なくなる。・朝早くから預かってもらえる保育園がない。・学童保育所が少ない。
安心、安全な 環境整備	・道幅を広くする。	・歩道が狭くベビーカーが通れない。ガードレールがなかったり、傾いて歩きにくいところがある。・自転車専用道路がない。・交通マナーの悪い車が多い。
地域ぐるみでの 子育て支援	・親同士のコミュニティづくりの支援。	ママ友達などコミュニティづくりの支援の充実。子ども会がない地域がある。
教育の充実	・学童保育で習い事(英会話など)を行う。	・習い事をさせるのにもお金がかかる。・子育て支援センターが遠い。・早生まれの子どもは、保育料の無償化対象にならない。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	子どもが病気になった時に、診療・受け入れてくれるところがある。	・子どもが急に病気になった時に診療・受け入れてくれる病院(小児科)が少ない。・3歳児以降の健診制度がない。・保健センターが、電話予約制で相談しにくい。
公共交通機関の 充実	-	さんさんバスの便数が少なく、地域によって利用できない人がいる。

安心して出産できる環境整備、産後の支援(おむつなどの現物支給)に関する意見のほか、安心して子どもを預けられる環境整備、緊急時の健康相談や診療ができる体制づくり、 地域の人が交流できる機会づくりに関する意見が多くみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的•理由
妊娠・出産・産後 の支援	・産婦人科の誘致。初産の方への出産費用の補助。 ・助産院の増加、助産師への相談チケットの配布。 ・陣痛タクシーの利用条件の緩和。 ・おむつやミルクの現物支給。 ・商品券、お米券の支給。	 ・産科がなく、助産師が少ないため。 ・出産費用が高額。助産師への相談の費用負担を軽減。 ・陣痛タクシーの利用条件により、利用者が限定されるため。 ・給付金をそのまま貯金する人もおり、現物支給の方が助かるケースもある。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	朝早くから預けられる保育園の整備。学童保育の充実。保育料半額制度の条件緩和。	朝早くから預けられる保育園がないことに伴い、 働きたくても働けない人を支援するため。学童保育所が少ないため。年上の子どもが小学校に入学すると、年下の子どもの 保育料が半額制度の対象外になるため。
安心、安全な 環境整備	道幅を広くする。	歩いていて危ないと感じる場所が多く、注意喚起の 啓発も少ないため。
健康支援・ 医療体制の充実	・子どもが病気になった時に、診療・受け入れてくれるところを作る。	・子どもが急に病気になった時に診療・受け入れてくれる病院(小児科)が少ないため。・3歳児以降の健診制度がないため。・保健センターは、電話予約制で相談しにくいため。
教育の充実	乳幼児が遊べる場所の充実。公園に現代に合わせた遊具を取り入れる。給食でJAと連携。	「文化パルク城陽」の遊び場が高学年向けのため。ありきたりな遊具以外の遊具を取り入れる。地産地消による食育。
地域ぐるみでの 子育て支援	自治会に参加できない家庭への補助。子育てする人同士のほか、老若男女が交流できるイベントや機会、コミュニティづくり。	・共働きで自治会に参加できない方を支援するため。・さんさんバスの便数が少なく、子育て支援センターに 行きにくい。また、予約が必要で利用しにくいため。
情報発信	・子育て支援サイトは、自治会に入っていない人に とっての情報源になる。・設備等の破損を修理するまで時間を要したり、 修繕後の結果報告。	・最新情報のタイムリーな発信。



注:氏名が表示されている箇所を色塗りにしている(以下同様)

【午前の部】2班

■子育てをする上で望ましい環境

「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」、「情報発信」に関する意見が多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」、「情報発信」に加えて、「妊娠・ 出産・産後の支援」、「安心、安全な環境整備」に関する意見が多くみられました。

項目	子育てをする上で望ましい環境 	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・産後訪問が終わった後のケアの充実。	・ 産科がない。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	子どもの送り迎えで、両親以外にも頼れる支援体制。夜間保育。	・急な子どもの送り迎えに対応できる仕組みづくり。
安心、安全な 環境整備	・安全な通学路の整備。	通学路の横断歩道に信号がない、一時停止しない 車がいる。国道24号の歩道が狭く、途中で歩道がなくなる ところがある。
情報発信	・出産費用の給付金に関する国の施策も含めた最新情報の周知。・市の子育て支援制度について、子どもが生まれる前の段階からの情報周知。	国の施策や、市の支援制度やサービス(公園の遊具情報など)のタイムリーな発信。

安心して出産できる環境整備、産後のケアに関する意見のほか、安心して子どもを預けられる環境整備、必要とする情報へのアクセスの改善や情報周知に関する意見が多くみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的•理由
妊娠・出産・産後 の支援	・産婦人科の誘致。・産後訪問のアフターケアの回数を増やす。	• 産科がないため。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・学童保育の充実とともに職員の給与面での支援。・城陽市の業務として在宅勤務しながら、収入を得られる仕組み。・夜間保育の拡充。・城陽市内の企業に勤務している子育て世帯で、時短勤務の方に対する給料補填や税金の軽減。	・小学校入学後、子どもの送り迎えに対応できない共働き世帯もあるため。学童保育所の職員の給与が低く 続かないとの声もあり、行政面でも支援するため。・子どもを家でみながら、共働き世帯の収入を安定化。
安心、安全な 環境整備	・通学路の歩道を広げる、または別の形での安全対策。	・安心・安全に通学できるようにするため。
地域ぐるみでの 子育て支援	・本会議のような機会を定期的に開催し、市民同士が 交流し、市に対して考えを伝える場にしてほしい。	・他者の視点や考え、市の取組を知る機会になるため。
情報発信	・保育園の空き状況の見える化。・学童保育所の空き状況など調べ方が分からない。・道路の危ない箇所についての情報周知。	・空き状況を毎日チェックしなければならないため。・情報の掲載場所が分かりにくいため。



【午前の部】3班

■子育てをする上で望ましい環境

「妊娠・出産・産後の支援」、「子どもの健康の支援や医療体制の充実」に関する意見が 多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

「妊娠・出産・産後の支援」、「子どもの健康の支援や医療体制の充実」に加えて、「情報発信」、「安心、安全な環境整備」に関する意見が多くみられました。

項目	子育てをする上で望ましい環境	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・バスや電車でマタニティマークを付けている人への 配慮。・妊活支援(不妊治療の費用補助)。・妊婦健診の費用を補助。・お米券やおむつなどの配布。	・産科がない。・妊活に対する周囲の理解。・電動自転車を購入するための補助。
安心、安全な 環境整備	・子どもの遊び場や施設が充実している。	・道幅が狭く、歩道がないところがある。・ボール遊びができる公園が少ない。
地域ぐるみでの 子育て支援	・地域の年配の方からの見守りがある。・ママ友達同士のつながりがある。	・近所の子どもとの交流が少ない。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・インフルエンザの予防接種費用の補助。・子どもの医療費の無償化。・3歳児健診の際に、弱視か否かの診断を取り入れる。	・乳幼児健診の回数を月1回から増やす。
障がいや発達に 課題のある子への 支援	・音楽や体育など同じ授業を受けられる仕組みの拡大。	-
公共交通機関の 充実	・自家用車がない、運転できない人でも病院に行けるような交通手段(タクシーやバスなど)の充実。	子どもを遊びに連れていく施設の駐車場代がかかるので利用しにくい。
情報発信	子ども食堂の取組についての情報が、必要な人に しっかりと届く。	子ども食堂の取組についての情報周知。不妊治療から産後支援までの取組をまとめた情報発信。

安心して出産できる環境整備、産後の支援(おむつなどの支給等)に関する意見のほか、 安心・安全な道路や遊び場の整備、健診回数や内容の充実、公共交通機関やタクシーの充 実に関する意見が多くみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的・理由
妊娠・出産・産後 の支援	・妊活の前段階として、出会いの場づくり。・妊活の費用を補助。・おむつや離乳食などの配布。・地域の商店街で使えるクーボン券の配布。	妊娠するまでの支援をするため。産後にかかる費用負担を軽減するため。
安心、安全な 環境整備	・歩道の整備。・子どもの遊び場を増やす。	 道幅が狭かったり歩道がないなど、ベビーカーを 押しにくいところがあるため。 ボール遊びができたり、遊具が充実した公園が少ない。
地域ぐるみでの 子育て支援	・地域の人と交流できる場づくり。支援が必要な人と 支援したい人をマッチングする仕組み。	支援を必要とする人へのサポートを促進するため。
教育の充実	・英語教育につながるネイティブの人との異文化交流。	・小学校から英語教育が必修化されたため。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	乳幼児健診の内容の充実。3歳児健診の際に弱視か否かの診断を取り入れる。	乳幼児健診は予約が一杯の場合、翌月に延期になったりするため。3歳児健診に弱視か否かの診断が含まれていないため。
障がいや発達に 課題のある子への 支援	障がいや発達に課題のある子について考える 機会づくり。	児童虐待や発達に課題のある子について考えたり、 知る機会が少ないため。
公共交通機関の 充実	・さんさんバスやタクシーの充実と無料化。・駐車場料金の無償化またはクーボン配布。	・自家用車がないと行きにくい場所が多いため。・駐車場料金がネックになり、子どもを施設に遊びに連れていくのをためらってしまうため。
情報発信	・子育て支援アプリ「城陽すくすく親子アプリ」による情報発信。	・城陽市が取り組んでいる内容を知る機会が少ない。 また、広報紙は忙しくて読む時間がないため。



【午前の部】4班

■子育てをする上で望ましい環境

「妊娠・出産・産後の支援」、「安心、安全な環境整備」に関する意見が多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

「妊娠・出産・産後の支援」、「安心、安全な環境整備」に加えて、「地域ぐるみでの子育 て支援」に関する意見が多くみられました。

項目	子育てをする上で望ましい環境	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・ 陣痛タクシーの利用方法などの情報周知。・ 出産費用の全額補助。	・出産費用も出産育児一時金が支給されるが、全額は 賄えないので、足りない部分は実費負担になる。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・誰もが産休・育休制度を気軽に利用できる。	・産休、育休制度を利用しやすい職場環境づくり。
安心、安全な 環境整備	世代ごとの子どもが安心して遊べる公園。ボール遊びができる公園。雨天でも室内で遊べる場所。	・道幅が狭く、通行する車も多い。・乳幼児と小学生では遊び方が異なるため、トラブルになったとの話を聞くことが多い。
地域ぐるみでの 子育て支援	・見守り隊の取組を継続。 ・子ども会によるイベントの充実。	・子ども会が減少し、子ども同士の交流が減っている。・子育て支援センターの駐車場が狭く、同センター 行きのさんさんバスの便数が少ない。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・ 小児科の充実。	・交通手段が車になると、駐車場が広い小児科が限定 される。
公共交通機関の 充実	・公共交通機関の充実、移動費用の補助。	・妊娠中の移動手段が少ない。公共交通機関で移動 すると結構費用がかかる。

安心して出産できる環境整備、安心・安全な道路や遊び場の整備のほか、駐車場の広い 病院の誘致、児童虐待の相談窓口の周知に関する意見がみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的・理由
妊娠・出産・産後 の支援	・陣痛タクシーの費用の補助、情報周知。・出産費用の全額補助。	・陣痛タクシーの利用回数が増えると費用がかさむ。 また、取組自体が十分に認知されていないため。
安心、安全な 環境整備	・道路の整備。・すべての年代の子どもが遊べる公園整備。	・道幅が狭く、子どもが危ないため。・年代が上の子どもと下の子どもがいる家庭は、 バラバラの場所に行くことは難しいため。
地域ぐるみでの 子育て支援	・子ども会の開催。	大人としては負担にはなるが、子どもとしては楽しい思い出につながるため。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	子どもが大きい病気をしたときに、大きい病院への 移動手段が自家用車しかなく、さんさんバスの便数 も少ない。	・駐車場の広い病院が限られるため。
児童虐待への 対応施策の充実	・周囲で虐待が疑われる子を見つけた場合に判断できる基準、相談窓口の周知。	・第三者視点では、虐待かどうかの見極めが難しく、 どこに相談して良いか分からないため。
情報発信	・健康カレンダーなどの情報掲載場所、問い合わせ先 の周知。	健康カレンダーの情報に、すぐにたどり着けない。



【午後の部】1 班

■子育てをする上で望ましい環境

「妊娠・出産・産後の支援」、「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」、「安心、安全な環境整備」、「地域ぐるみでの子育て支援」に関する意見が多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

子育てをする上での望ましい環境と同様に、「妊娠・出産・産後の支援」、「仕事と家庭の 両立支援と多様な働き方への理解促進」、「安心、安全な環境整備」に関する意見が多くみ られました。

項目	子育てをする上で望ましい環境	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・子どもが3人以上いる家庭に対する、城陽市独自の 支援施策。・妊婦健診費用の補助の充実。	健診から出産までできる産婦人科がない。市が行っている補助だけでは足りない。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・ 夜勤の人でも子どもを預けられる環境。・ 勤務する企業の理解、家族の協力体制。・ 手軽に利用できる一時預かり施設の整備。	・夜中でも子どもを預けられる施設がない。・仕事をしながら子どもをみるのは大変。・一時預かり施設の利用は敷居が高い。
安心、安全な 環境整備	子どもを預ける施設の職員が資格保有者であったり、 学童保育所や病院の施設など、安心して預けられる 施設の整備。スマートフォンを活用した犯罪防止の取組。	・久世平川の車の交通量がとても多くて危ない。・ベビーカーを押しにくい。歩道の整備。・避難場所への移動経路が、ハザードマップで水没可能性のあるエリアになっている。
地域ぐるみでの 子育て支援	・市民がオンラインや対面で集まって子育でについて 話し合える機会づくり。・地蔵盆などの自治会行事。・子育て支援センターの職員が親身に相談に乗って くれて、とてもありがたいので継続していく。	_
教育の充実	・家庭環境に近い教育施設の充実。勉強だけではなく、 掃除などの活動を通じた教育も行う。・子どもがやりたいことの方向性を示し、環境を提供 する。	・保育士の給料を行政も補助して、保育士の待遇を 良くする。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・かかりつけ医がいること。	_
児童虐待への 対応施策の充実	・子育てをしている親同士が交流できる場づくり。・虐待に気付ける環境のシステム化。	・1行政だけでは対応が難しい。近隣市町村との連携。
障がいや発達に 課題のある子への 支援	・子どものペースに合わせた学習支援。・子どもたちによって、学校の受入体制が異なるので連絡調整・情報共有できる体制づくり。	・加配職員をつけても、保育士が不足している。
子どもの貧困・ 生活困窮者対策の 充実	税金の使い方、地域で余ったお金の使い方について 考える環境づくり。不足しているもの、サポートが必要なものは何か、 関係各所での情報共有。	_
公共交通の 充実	・さんさんバスの便数の充実。	・さんさんバスの便数が少ない。路線の拡大。

注:「加配」とは、保育園や幼稚園において、障がいのある子どもや集団生活を送るにあたって困りごとを 抱えている子どもに対して、サポートや援助ができるよう、通常の職員数に加えて保育士や幼稚園教諭を 配置すること。

安心して妊娠から出産まで完結できる環境整備、安心・安全な歩道や道路整備、小児科の誘致のほか、児童虐待への対応策としては、オンラインの活用により相談しやすい仕組みづくりに関する意見がみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的・理由
妊娠・出産・産後 の支援	・産婦人科の誘致。・妊娠、出産にかかる費用の補助。	・安心して妊娠から出産までを過ごせる施設が必要なため。また、出産にはお金がかかり、金銭面での補助の充実が望ましいため。
安心、安全な 環境整備	・歩道の整備、道路の整備(特にマツヤスーパーのある平川から入って久津川まで続く道路)。・公園の定期的な草刈り。・避難経路の見直し。	 住宅街でスピードを出している車があり、危ないため。 夏場の公園に雑草が生い茂っており、安心・安全に遊べる公園整備が求められるため。 災害時の避難経路として水没可能性のあるエリアが含まれているため。
教育の充実	・LGBTQ教育、スマートフォン関連の教育の充実。	・LGBTQ教育、スマートフォン関連の教育により、 健全な心身の育成への意識改革の機会づくり。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・小児科の誘致。かかりつけ医のいる病院の充実。	 現状は出産後、他の大きな病院を紹介されるため。 子どもの健康を最後まで診てもらえる病院が必要な ため。
児童虐待への 対応施策の充実	オンラインや対面どちらでも、誰かと話せる施設の充実。虐待に気付ける環境のシステム化。	・親同士が話せる機会づくりにより、相談しやすくなる ため。また、オンラインの活用により、自由に出入り できるため。・虐待が行われていると気づける場面がない。
障がいや発達に 課題のある子への 支援	・差別をなくすための配慮や教育。	・差別をなくすための意識や理解が必要なため。
公共交通の 充実	・さんさんバスの便数の増加、路線拡大。	さんさんバスの路線が限られているため。



【午後の部】2班

■子育てをする上で望ましい環境

「妊娠・出産・産後の支援」、「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」、に 関する意見が多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

「妊娠・出産・産後の支援」、「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」に加えて、「地域ぐるみでの子育て支援」、「子どもの健康の支援と医療体制の充実」に関する意見が多くみられました。

項目	子育てをする上で望ましい環境	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・部署ごとに異なる行政手続きをオンライン、 ワンストップでできる。・健診費用の全額補助。・出産育児給付金を物価高に合わせて支給。	手続きを簡潔かつタイムリーにできるようにする。健診費用、出産費用の負担が大きい。産婦人科が少ない。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・男性、女性の家事負担割合のバランスを取る。・学童保育所や一時預かり施設の充実、費用の補助。・春休みや冬休み期間の保育日数を増やしてほしい。	・女性の方が家事負担の割合が大きくなる傾向がある。・保育園や幼稚園に通う間は延長保育が利用できるが、 小学校に入学すると通常保育よりも早く帰宅するので、働きたくても働けなくなり、収入が減少する。・子育て世帯にとって、PTAや自治会の負担が大きい。
地域ぐるみでの 子育て支援	見守り隊の取組の継続。公民館や児童センターでの季節ごとの行事の開催を 継続。	・両親が遠方におり、緊急時に子どもの見守りを 頼める人が友達しかいない。・地域のお祭りの減少。
教育の充実	• 授業料や給食費などの補助。	・保育士や幼稚園教諭が不足。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・健康診断に合わせた病院との連携。	・小児科が少ない。・乳幼児の歯のフッ素塗布、フッ化物洗口事業がない。・乳幼児の時に夜中でも健康相談できる体制がない。 救急車を呼ぶべきか否かなど、オンライン相談できる窓口がない。
情報発信	・行政の補助対象外で負担が必要な費用について、 就学前の家庭に周知する。・市の子育て支援の取組をスマートフォンで閲覧でき るようにする。	市が作成するガイドブックは内容が細かくて読まない。

安心して妊娠から出産まで完結できる環境整備、安心して子どもを預けられる環境整備、 緊急時の健康相談や診療が受けられる体制づくりに関する意見がみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的•理由
妊娠・出産・産後 の支援	・産婦人科の誘致。・妊婦健診費用の補助。	・妊娠から出産まで、市内で完結できないため。・健診回数が重なると費用負担が大きいため。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・春休みや冬休み期間の保育日数の増加。・学童保育料の無償化。・PTAや自治体の活動負担の分散化。	保育園が休園になって預けられるところがなくなるため。教育費の負担を軽減するため。子育て世帯の負担を軽減するため。
安心、安全な 環境整備	• 通学路の危険な箇所の洗い出し。パトロールの補助。	より多くの大人の見守りがあると、効果が期待できる ため。
地域ぐるみでの 子育て支援	地域コミュティの統合など、時代に合わせたアップ デート。	・少子高齢化の時代のなかでも、地域のお祭りやイベントの開催につなげるため。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・小児科の誘致。・24時間対応のオンラインで健康相談ができる体制。・健康診断に合わせた病院と学校との連携。・乳幼児期の歯のフッ素塗布にかかる費用の補助。	 ・市民病院がなく、救急で診てもらえるところがない。 ・夜中でも健康相談できる体制、窓口がない。 ・地域の病院等で対応できない部分を連携することで保護者の負担を軽減するため。 ・京都市では歯のフッ素塗布事業を行っているため。



【午後の部】3班

■子育てをする上で望ましい環境

「妊娠・出産・産後の支援」、「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」、「地域ぐるみでの子育て支援」に関する意見が多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」、「地域ぐるみでの子育て支援」に関する意見が多くみられました。

項目	子育てをする上で望ましい環境	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・安心して妊娠・出産できる環境整備。・産後鬱にならないためのケア。	・妊娠から出産まで市内で完結できる環境がない。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・産休、育休後に仕事復帰できるよう、職場の理解や 親からの協力。・遠方に親がいる人が、できるだけ早期に子どもを 預けられる環境整備。・病児保育、学童保育の充実。	・子どもが小学校に入学するタイミングで仕事を辞める人が多い。・子どもが病気になった時に、保育園の登園許可証を発行されるとその間働けなくなる。・共働きでないと、子どもを保育園に入れられない。
安心、安全な 環境整備	• 広い道路。	歩道が狭い。
地域ぐるみでの 子育て支援	・育児相談ができる場所。・他市町村の人とも交流できる仕組み。・子育て支援施設を利用したい時にすぐに情報にアクセスできる。・見守り隊の取組の継続。	・親子で参加できる、楽しみのあるイベントが少ない。・気軽に行ける場所に子育て支援センターがない。・急いでいる車がいて、見守り隊の方が危ない場面がある。
教育の充実	• 教育費の無償化または費用の補助。	-
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・夜間や休日でもすぐに診てもらえる体制。・医療費の補助。	・小児科が少ない。
児童虐待への 対応施策の充実	・背景や根本的な原因を把握したうえで、必要なケアを話し合うスタッフの充実。	・行政支援の情報へのアクセスが難しい。
障がいや発達に 課題のある子への 支援	・親が育児放棄にならないような行政の支援。	• 障がいのある子どもへの支援を行う施設が少なく 感じる。
子どもの貧困・ 生活困窮者対策の 充実	・背景や根本的な原因を把握したうえで、必要なケアを話し合うスタッフの充実。	・行政支援の情報へのアクセスが難しい。

安心して妊娠から出産まで完結できる環境整備、安心・安全な歩道や道路整備、小児科の誘致のほか、児童虐待への対応策としては、オンラインの活用により相談しやすい仕組みづくりに関する意見がみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的•理由
妊娠・出産・産後 の支援	• 産婦人科の誘致。	・妊娠から出産まで、市内で完結できないため。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・産休、育休後に仕事に戻れる環境、職場の理解。・出産後の家事負担について夫婦が相談する場づくり、支援。・共働きでなくても保育園に入れるようにする。・病児保育の充実。	・家事負担は一般的に女性の方が大きいため。・子どもを保育園に預けられるようになってから、仕事を探せるようにするため。・子どもが病気になった時に仕事を休めない場合、預けられる施設が必要なため。
安心、安全な 環境整備	・道路の拡幅。歩道の整備。・暗い道に街灯を設置する。・安全マップの共有。	・小学校の前の道路に車が多かったり、自転車を押していて体を斜めにしないと通れないところがあるため。
地域ぐるみでの 子育て支援	急いでいる車があり、見守り隊の方が危ない場面があるので改善する。	• 見守り隊の取組を継続していくための安全確保。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・小児科の誘致。・相談したらすぐに病院を紹介してもらえる体制。	・夜間や休日にすぐに診てもらえるようにするため。
児童虐待への 対応施策の充実	・支援窓口にアクセスしやすくする、増やす。・背景や根本的な原因を把握したうえで、必要なケアを話し合うスタッフの充実。	・支援を必要としている人がアクセスできない。・支援やケアだけでは根本的な解決には至らないため。
障がいや発達に 課題のある子への 支援	・どうして良いか分からない親への支援。	支援を必要としていても情報や相談窓口にアクセスできない親もいるため。
情報発信	・市の取組や相談窓口があることを周知する。・紙媒体での発信だけでなく、SNSやホームページをもっと活用し、最新情報を発信する。	情報や支援を必要としている人が手軽にアクセスできるようにして、一人一人の不安を取り除くため。



【午後の部】4 班

■子育てをする上で望ましい環境

「仕事と家庭の両立支援と多様な働き方への理解促進」、「地域ぐるみでの子育て支援」に関する意見が多くみられました。

■城陽市で子育てをする上で課題と感じること

「地域ぐるみでの子育て支援」に加えて、「安心、安全な環境整備」、「教育の充実」に関する意見が多くみられました。

75 0	フカイヤナストで増すしい理論	₩18±3757±+71±638
項目	子育てをする上で望ましい環境	城陽市で子育てをする上での課題
妊娠・出産・産後 の支援	・ 妊婦健診費用の補助。	・ 産科がない。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・子育てに理解のある時短勤務ができる企業を増やす。・地元企業で勤務している人への支援により、地元企業で働く人が増える。	・夫婦とも両親が要介護の場合は頼ることができない ため、仕事と家庭の両立が難しい。
安心、安全な 環境整備	・子どもが安全に登下校できる環境。	・道幅が狭く、通学路を抜け道として走る車が多い。・横断歩道を渡ろうとしても止まる車が少ない。・ガードレールの内側に電柱がある場所もある。
地域ぐるみでの 子育て支援	・見守り隊の取組の継続。・「あそびのひろば」の回数を増やす。	・シルバー人材センターが見回りをしない公園は ごみの放置がひどい。・同世代の子ども同士の交流が少ない。・自家用車がないと、子育て支援センターが遠くて 行きにくい。・子ども会がない地域がある。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・ 医療費の無償化。	・医療費の月額上限が高校生から200円ではなくなる。
教育の充実	・勉強したい子どもがしっかりと勉強できる環境。	・荒れている学校とそうでない学校との差が大きい。・学校によって良い成績の取りやすさにばらつきがある。
子どもの貧困・ 生活困窮者対策の 充実	使い終わった子育で用品を売買できるフリーマーケットの開催と、低所得者が優先して購入できる仕組みづくり。	・子育て用品は使う期間が短くかさばる。
公共交通機関の 充実	さんさんバスの便数を増やす。	・JR城陽駅のロータリーに停車する車が多く混雑する。

安心して出産できる環境整備、産後の支援(おむつの現物支給や声かけ)に関する意見のほか、子育て世帯の多様な働き方についての理解促進、安心して子どもを預けられる環境整備、安心・安全な歩道や道路整備、緊急時に健康相談や診療が受けられる体制づくり、子ども同士が交流できる機会づくりに関する意見がみられました。

項目	城陽市に期待する施策等	目的•理由
妊娠・出産・産後 の支援	・産科の誘致。 ・おむつ定期便の実施、おむつ宅配時の声かけ。	・安心して出産できる環境が求められるため。・新生児期は授乳回数が多く、外出するのが大変なため。 人と話す機会により、産後の心のケアにつながるため。
仕事と家庭の両立 支援と多様な働き 方への理解促進	・子どもの急病や時短勤務など、子育てに理解のある企業を増やす。・子育てに理解のある企業情報をまとめてホームページに掲載する。・保育園の充実。	・子育てを支援する企業が多いことは、市としてもPRになるため。・子育てに理解のある企業情報を個人で調べるのは大変なため。・保育園の空きがない。
安心、安全な 環境整備	通学路を含めた道路整備。見守り隊が対応しきれない箇所は、市が対応する。	・安全に登下校、外出できるようにするため。
地域ぐるみでの 子育て支援	・アクセスしやすい場所で、子ども同士が交流できる機会を増やす。・自治会や子ども会の地域格差を均一化。	・子ども同士の交流できる場所が、子育て支援センターなどに限定されるため。・地域によって自治会や子ども会がないところがあるため。
教育の充実	• 地域間の教育格差の均一化。	・地域によって学習環境にばらつきがあるため。
子どもの健康の 支援や医療体制の 充実	・救急病院の設置。 ・LINEなどで健康相談ができる体制づくり。	・救急病院が少ないため。・小児科にかかるかどうかの相談窓口がないため。
子どもの貧困・ 生活困窮者対策の 充実	・使い終わった子育て用品を売買できるフリーマーケットの開催と、低所得者が優先して購入できる仕組みづくり。	子育て用品は使う期間が短くかさばるため。低所得者 が優先して購入できる仕組みにすることで、市として もまちおこしにつながるため。
公共交通機関の 充実	さんさんバスの便数を増やす。	・自家用車がないと、子育て支援センターに行きにくいため。また、市内で通勤する人にとっての公共交通機関が少ないため。



4-1 意見結果

午前・午後あわせて計 8 班で「あったらいいな~子育て編~」に向けた活発な議論がなされ、主に次の 9 つの分野で意見がありました。

(1) 妊娠・出産・産後の支援

産婦人科の誘致、妊婦健診費用の補助、陣痛タクシーの利用条件の緩和、おむつやミルクなどの現物支給、妊娠中・産後の相談を通じたケアの充実など、市内で妊娠・出産ができるようになることや、産後も安心して暮らせる施策を期待する意見がありました。

(2) 仕事と家庭の両立や多様な働き方への理解の促進

共働きの家庭なども多くなっており、保育所や学童保育所の充実(病児保育も含めた施設数の増加、保育時間(早朝や夜間)や保育日数の拡大、費用の補助、保育所の入所条件の緩和など)、一時預かり施設の拡充、子育てに理解のある地元企業の情報発信、地元企業で働く子育て世帯への支援などといった、多様な働き方に対応できる施策を期待する声がありました。

(3) 安心、安全な環境整備

本市は歩道や道路が狭い道が多く、歩行者や自転車が安心、安全に移動できないといった課題があります。道路や歩道の整備(道路幅の拡幅、ガードレールや街灯の設置、歩道の傾きの改善など)、公園や遊び場の充実(異なる年代の子どもが遊べる、ボール遊びができるなど)、安全マップの共有など、安心・安全に通学、移動できるまちづくりに期待する意見がありました。

(4) 地域ぐるみでの子育て支援

本市における見守り隊の取組に対する好意的な声が多く、取組の継続や安全面への支援についての意見があったほか、幅広い世代の人が交流できる機会やイベントづくり(自治会や子ども会の支援など)、地域コミュニティの統合など時代に合わせた見直しなどといった意見もありました。

(5) 教育の充実

教育に関しては、JA と連携した地産地消の給食を活用した食育、英語教育につながるネイティブの人との交流、地域間での教育格差の是正などを期待する声がありました。

(6) 子どもの健康の支援や医療体制の充実

身近にかかりつけ医がいることの安心感を得られる環境づくりや、夜間・休日に子どもが受診できるような病院間での連携や小児科の誘致、乳幼児健診の内容の充実、オンラインで子どもを病院に連れていくかなどを 24 時間いつでも相談できる仕組みづくりなどを期待する意見がありました。

(7) 児童虐待への対応施策の充実

子育てをしている親同士が交流できる場の充実(オンライン・対面型のいずれも)、虐待に気付ける環境のシステム化や相談窓口の拡充など、児童虐待の未然防止や早期発見につながる施策を期待する声がありました。

(8) 障がいや発達に課題のある子への支援

障がいや発達に課題のある子どもについては、総合的な支援体制の充実を図るとともに、 円滑に適切な学校・学級につなげていく取組を行うことが求められます。障がいや発達に 課題のある子について考える機会づくりや、差別をなくすための配慮・教育の地域への浸 透、障がいや発達に課題のある我が子への接し方が分からない親への相談支援の実施など といった声がありました。

(9) 子どもの貧困・生活困窮者対策の充実

貧困のために十分な子育で支援が受けられず、満足した成長ができないということがないよう、手当や相談、援助などの各種制度により側面的に支援していく必要があります。 不足しているものや必要なサポートは何かなどの関係各所での情報共有、使い終わった子育て用品を売買できるフリーマーケットの開催や低所得者が優先的に購入できる仕組みづくりなどを期待する声がありました。

4-2 総括

本会議において「子育てをする上で望ましい環境の実現に向けて、本市に期待する施策」として、産婦人科や小児科の誘致、出産育児一時金や妊婦健診費用の補助の拡充などといった妊娠から出産までを市内でできるハード・ソフト両面での環境づくりをはじめ、保育所や病児保育所・学童保育所の充実、道路や歩道の整備、夜間・休日に診療可能な医療体制や24時間対応のオンライン相談、公共交通の拡充、自治会や子ども会など子ども同士やその保護者、地域住民らが交流できるイベント、本市の子育て支援施策にかかる情報発信の見直しなど、様々な意見がみられました。

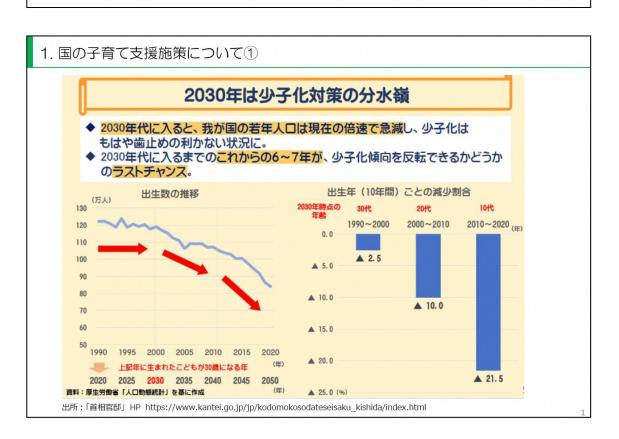
その中には、本市の方向性と一致するものもありました。本市では、市有地への産科の誘致に向けた取組や、デイサービス型の産後ケアの実施、妊婦歯科治療費の一部助成といった妊娠・出産期における支援の拡充を進めています。また、個々の家庭に応じて、妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談支援を行う機能を持った「こども家庭センター」の設置や、地域子育て支援センター「ひなたぼっこ」における地域・多世代交流事業の実施のほか、情報発信においては「城陽すくすく親子アプリ」の運用や、子育て支援サイト「JOY♡KIDS(じょうようきっず)」の開設など、会議で出された意見と方向性が一致している施策が多くあることは歓迎すべきと考えられます。そして今後は、これらの施策を効果的に推進するとともに、さらなる周知に努めることが求められます。

また、本市では、第2次「山背(やましろ)五里五里のまち 創生総合戦略」において『「医・職・住・遊・学」を充実する"健康で質の高い生活を志向するまちづくり"』を基本方針とし、「出産から子育てまでの環境の充実」や「教育・教育環境の充実」といった子育てがしやすい環境づくりをはじめ、多世代が暮らしやすい質の高いまちの実現に向けて取り組んでいます。これらの取組を進めることにより、城陽に「多世代が暮らしやすいまち」「子育てがしやすいまち」という地域ブランドを確立し、本市のイメージ向上を図るとともに、企業誘致や若い世代の移住・定住につなげることが求められます。

本会議でいただいた意見に基づき、本市として取り組むべきものについては、すでに実施している施策との整合性を図りながら、施策への反映について検討してまいります。

5-1 事前配布資料

城陽未来まちづくり会議(55人委員会) 事前配布資料



1. 国の子育て支援施策について②

2023年4月 「こども家庭庁」の設置 2023年6月 「こども未来戦略方針」の策定

こども・子育て政策の強化のため、3つの基本理念が掲げられています。 ①若い世代の所得を増やす ②社会全体の構造・意識を変える ③全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援



出所:「首相官邸」HP https://www.kantei.go.jp/jp/kodomokosodateseisaku_kishida/index.html 「こども家庭庁」 – 「こども未来戦略方針MAPJを基に作成。

1. 国の子育て支援施策について③

「こども未来戦略方針」における「少子化対策 『加速化プラン』」のなかでは、 3つのプランが掲げられています。

- ①若い世代の所得を増やす、②社会全体の構造や意識を変える、
- ③すべてのこども・子育て世帯をライフステージに応じて切れ目なく支援

少子化対策「加速化プラン」

●若い世代の所得を増やす

児童手当

☑ 所得制限撤廃
☑ 支給期間3年延長(高校卒業まで) ☑ 第三子以降は3万円に倍増

高等教育(大学等)

- ☑ 授業料減免 (高等教育の無償化) の拡大
- ✓ 子育て期の貸与型奨学金の返済負担の緩和
- □ 授業料後払い制度の抜本拡充

出産

☑ 出産育児一時金を42万円から50万円に大幅に引上げ ☑ 2026年度から、出産費用の保険適用などを進める

働く子育て世帯の収入増

▼ 106 万円の壁を超えても 手取り収入が逆転しない ☑ 20 時間未満のバートの方々→雇用保険の適用を拡大 目営業やフリーランスの方々→育児中の国民年金保険料を免除

☑ 子育て世帯が優先的に入居できる住宅 今後、10年間で計30万戸

☑ フラット 35 の金利を子どもの 数に応じて優遇 出所:「こども未来戦略方針概要」を基に作成。

❷社会全体の構造や意識を変える

育休をとりやすい職場に

☑育休取得率目標を大幅に引上げ

☑ 中小企業の負担には十分に配慮/助成措置を大幅に拡充

育休制度の抜本的拡充

- ✓3才~小学校就学までの 「親と子のための選べる働き方制度」を創設✓ 時短勤務時の新たな給付
- ☑ 産後の一定期間に男女で育休を 取得した場合の給付率を手取り10割に

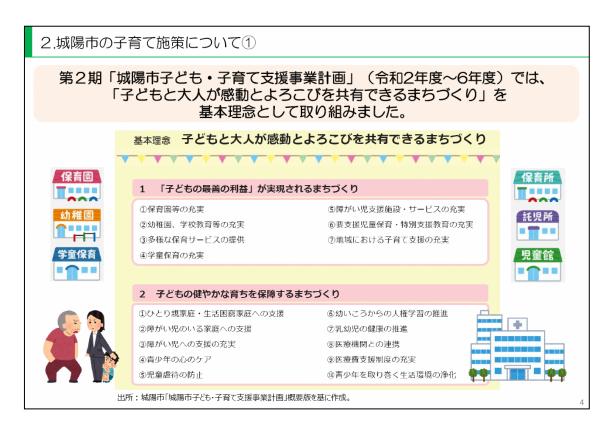
❸全てのこども・子育て世帯を ライフステージに応じて切れ目なく支援

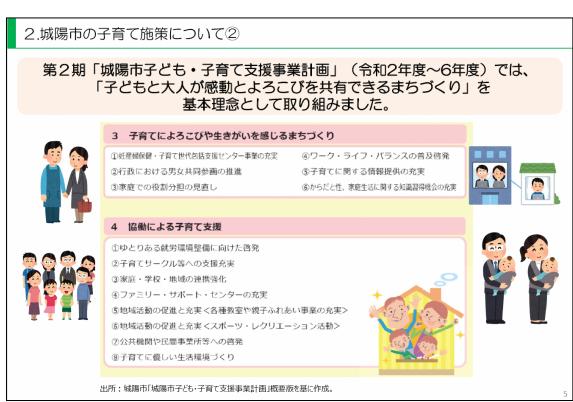
切れ目なく全ての子育て世帯を支援

- ☑ 妊娠・出産時から0~2歳の支援を強化
- 伴走型支援:10 万円 + 相談支援 ☑「こども誰でも通園制度」を創設
- ☑ 保育所:量の拡大から質の向上へ
- ☑ 貧困、虐待防止、障害児・医療的ケア児









2.城陽市の子育て施策について③

妊娠・出産に伴い発生する費用の助成、 妊産婦の心身サポート等に取り組んでいます



妊娠がわかった↓

出産までどう過ごしたらいいかわからない…

まずは、保健センター内の「すくすく親子サポートカウンター」へ。 まずは、保健センダー内の19〜9〜%エッパードパンシー 妊娠届を提出するときに、妊娠期の不安や過ごし方につい の終題 、保健師が衝滅で相談に応じます。予約制なので、市ホー ページからお申し込みください。 ムページからお申し込みください。

□□□□ 面談実施後、出産応援ギフト(5万円)。を給付します!

🚍 急な陣痛に備えて…



づ生まれてみると、これからの育児に不安も…

お子さんが生まれたら、14日以内に出産届をご提出ください。 希望者には、生後1カ月までに助産師や保健師がご家庭を訪問し、 ご相談に応じます。

また、生後2~4カ月の間にも改めて全てのお子さんを訪問します ので、育児に関するさまざまな不安や悩みをご相談ください。

面談実施後、一子育て応援ギフト(5万円)。を給付します!

予防接種などのスケジュール管理ができる、 子育て支援アプリ 圖を導入します! (9月頃予定) メールやプッシュ通知で予防接種のスケジュールなどをお知ら せするので、忙しいママ、パパも予定を忘れることなく便利です。

お子さんの生年月日などを骨無しておくと 月齢・年齢に応じた情報が届きます!



出所:「広報じょうよう2023年5月15日号 「応援します!Happy子育て in じょうよう」における。 今年度新たに実施する施策を中心とした、妊娠から子育て期までの子育て支援の取り組みを基に作成

2.城陽市の子育て施策について4

妊娠・出産に伴い発生する費用の助成、 妊産婦の心身サポート等に取り組んでいます

低所得世帯の妊婦さんへ

を診料を補助します!*7月開始予定

住民税非課税世帯で、一定の要件を満たす妊婦のみなさんへ、 産科受診料(初回分)を補助します! (上限 10,000円)



面額相談のときは…

● ぜひパートナーや同居家族もご一緒に↓

赤ちゃんを迎える心構えや、生まれてからの育児のイメージを共 有しておくことで、パートナー間や家族間の理解も深まります。 パパの育休取得についても、考える機会にしてみませんか?

検査費用を補助します↓

新生児の聴覚検査(初回分)の費用を補助します!妊娠届提出 時にお渡しする「受診券」をご利用ください。

令和6年4月頃オープン予定し 子育て支援サイト



市では、現在、子育てに関する総合情報サイトの構築を進めています。 子連れで遊びに行けるイベントや市内の施設、保育所や幼稚園の情 報など、子育てに関するさまざまな情報をタイムリーに発信します。 オープンをお楽しみに!

出所:「広報じょうよう2023年5月15日号 「応援します! Happy子育で in じょうよう」における、 今年度新たに実施する施策を中心とした、妊娠から子育て期までの子育て支援の取り組みを基に作成

5-2 事前アンケート結果

(1)調査の目的

「城陽未来まちづくり会議(55人委員会)」は、1つのテーマについて交流と対話を行い、その意見を市民の声として行政への提案につなげ、また交流の場を通じて地域社会のつながり(コミュニティ)を高めることを目的に開催しました。

このアンケート調査は、城陽未来まちづくり会議を実りあるものとしていくため、 無作為に抽出した市民 1,800 人を対象に、会議への参加依頼書とともにアンケート 用紙を郵送し、調査を実施しました。

(2)調査の概要

調查地域:城陽市全域

調査対象: 城陽市在住の 18 歳以上の個人から無作為で 1,800 人を抽出

(令和5年(2023年)11月1日現在)

調查方法:郵送法(郵送配布一郵送回収)

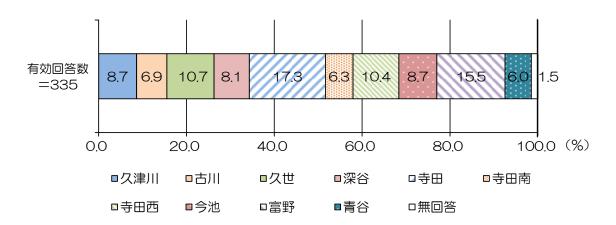
調査時期: 令和5年(2023年) 12月

回収数:335件(回収率 18.6%)

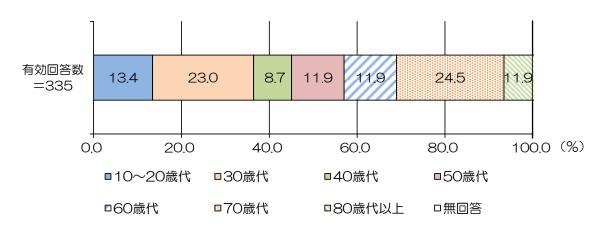
※集計結果はすべて、小数点第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。

城陽未来まちづくり会議 対象者アンケー	-ト ※参加を承諾されなかった方もご回答ください
こちらのアンケートは、別 添付の返信用封筒に同封のうえ、 <mark>12 月 22</mark>	
Q1. お住まいの小学校区を選んでください ※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください □ 久津川 □ 古川 □ 久世 □ 深合 □ 寺田 □ 寺田南 □ 寺田西 □ 今池 □ 富野 □ 青合 Q2. あなたの年齢層を選んでください ※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください □ 10~20歳代 □ 30歳代 □ 40歳代 □ 50歳代 □ 60歳代 □ 70歳代 □ 80歳代 □ 70歳代 □ 80歳代 □ 70歳代 □ 70歳んだ方 □ 70よまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可 □ 日程の都合が合わなかった □ 対はまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可 □ 日程の都合が合わなかった □ 対はまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可 □ 日程の都合が合わなかった □ 対はまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可 □ 日程の都合が合わなかった □ 対ははまる項目の下を辿りつぶしてください。複数回答可 □ 日程の都合が合わなかった □ 対ははまる項目の下を辿りのぶしてください。複数回答可 □ 日程の都合が合わなかった □ 対ははまる項目の下を辿りがなかった □ 対域がなかった □ 対域がながなかった □ 対域がなかった □ 対域がなかった □ 対域がなかった □ 対域がながなかった □ 対域がながながながながなかった □ 対域がながながながながながながながながながながながながながながながながながながな	Q4. 今後、城陽未来まちづくり会議で扱ってほしいテーマはありますか ※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可□観光□ 商工□ 農業□ 市民活動□ 教育□ 子育て□ 高齢者 階がい者福祉□ 医療・□ 自然□ 環境・□ 都市計画□ 道路・交通□ 防犯・防災□ 歴史・文化財□ その他() Q5. 城陽市で子育てをする上で、どのような環境が望ましいと思いますか。そのためには行政からどのようなサポートがあればよいと考えますか。当てはまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可□ 妊娠・出産の支援□ 仕事と家庭の両立や多様な働き方への理解の促進□ 安心、安全な環境整備□ 地域ぐるみでの子育て支援□ 教育の充実□ 子どもの健康の支援や医療体制の充実□ 児童虐待への対応施策の充実□ 閉節に課題のある子への支援□ 子どもの貧困・生活困窮者対策の充実□ 特にない□ わからない□ その他()

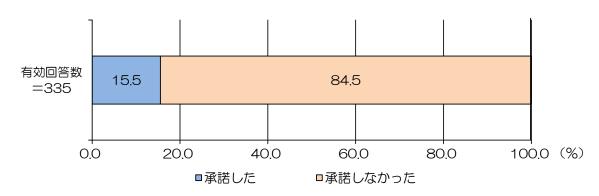
質問 1 お住まいの小学校区を選んでください。



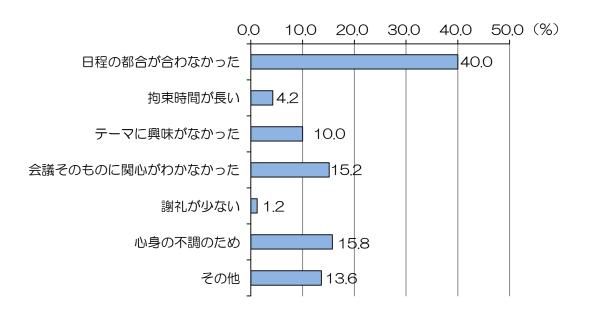
質問2 年齢層を選んでください。



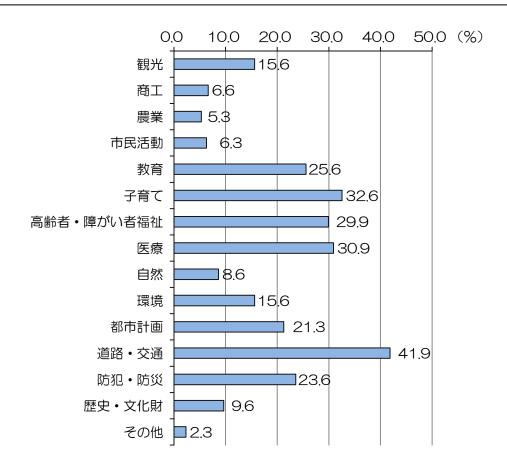
質問 3-1 城陽未来まちづくり会議への参加を承諾しましたか



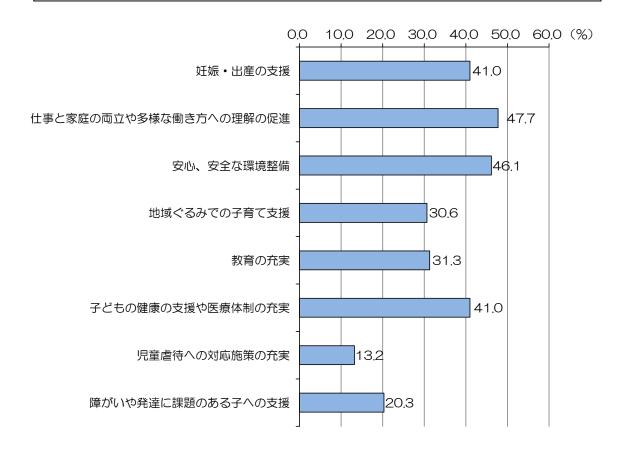
質問 3-2 質問 3-1 で「承諾しなかった」とご回答された方にお伺いします。 参加を承諾されなかった理由は何ですか。(複数回答可)



質問 4 今後、城陽未来まちづくり会議で扱ってほしいテーマはありますか。 (複数回答可)



質問 5 城陽市で子育てをする上で望ましい環境と、そのためには行政からどのような サポートがあれば良いと考えますか。(複数回答可)



質問 6 質問 5 で選択した項目について、具体的に何を行っていくべきだとお考えですか。ご自由にご記入ください。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
	出産後の1万円分の買い物の支援があるが、アルブラザでしか物がないに等しい。商品券などの配布などで里帰り先などでも使えるようにしてほしい。
	出産した女性へ少なくとも2回は助産師訪問のチケットがほしい。子育て支援センターが遠いが、行きたい人は多いと思う。「あそびの広場」をもっと開催してほしい。地域での子育て世代の横のつながりが広がる取組が何かあれば良い。
	産院の設置、半径1km圏内に小児科があると良い。
	「おむつ定期便」などの継続的な子育て支援をしてほしい。
	産科・小児科の誘致。
	妊婦の方の移動手段としてタクシーなど、交通機関を充実させてほしい。妊活の段階からセミナーなどがあると将来の妊娠、子育てについての不安も少なくなると思います。
	タクシーチケットを配布(妊婦の移動手段として支援する)。子育て勉強会。
妊 娠	出産できる医院、病院が城陽市内にないのが現状です。安心して子どもを産み育てる環境を整えることが大切であり、 子育て支援の根幹であると考えます。
· 出 産	産婦人科や小児科医院を増やす。
• 産	産婦人科が少なく出産しにくいので何か対策があればと思います。
後 の 支	妊娠、出産を金銭理由で悩んでいる人もいると思いますので、支援が多いと良いなと思います。
援	妊娠、出産の経済的支援。
	出産時、おむつ購入券や子育て世帯への図書券、現金給付が難しければ、PayPayやアルプラザのポイントなど、もっと子どもを産みたい、育てたいと思えるようなことをしてほしい。公園なども駐車場が近くになかったり、ロゴスランドなどはお金がかかったりと、市民であれば優遇するなどしてほしい。
	妊娠、出産時の子育て世帯への金銭的サポート。病児保育施設数を増やしてほしい(保育園児は風邪で休まなければいけない日が多く、夫婦共働き(常勤)だと休むことが難しいことが多いので、仕事と育児の両立が大変)。
	出産を控えていますが、産後の支援について具体的に城陽市がどのようなことができるのかなどを提示してほしいです。城陽市のホームページだけでは分かりづらい。
	妊娠・出産の支援が手厚くなれば、積極的に子どもがほしいと思う方が増えると思う。金銭面でのサポートは重要だと 思う。
	妊娠・出産、産後の支援。
	城陽市出産・育児支援給付金が10,000円は少ない。ないよりはマシですが、おむつやミルクなども値上げしているので正直、少ないと思います。育児用品も城陽市内で買ったものに限るとあったが、ベビー用品を取り扱っているところが少ないので無理がある。せめて、近隣(宇治市、久御山町、精華町、木津川市)まで範囲を広げても良いと思います。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
	市内に産婦人科がない。地域の広報誌によるパート求人(土日・祝休みなど)の掲載もしくは企業説明会の案内の 促進。
妊	城陽市に産婦人科がないので開業できるように何か市から提供などをする。子育てをしていてもフルタイムの正社員で雇ってほしいので、そのような会社を増やして、市が支援したら良いと思う。
娠 • マル	妊婦健診を城陽市内で受診できるようになってほしいので、産科の誘致をしてほしいです。歩道が狭くバギーで通りにくいところ、子どもと歩くには危険なところが多いので整備してほしいです。
子どもの産	産後のサポートの充実(市からおむつをもらえたり、お祝い金が出るなど)。歩道の整備(狭すぎたり斜めになっているので、ベビーカーや車いすを実際に押して歩いてみてほしいところがある)。子育て支援センターを増やしてほしい。各住宅街の公園の遊具を変えてほしい。
健後	共働きで厳しいくらい妊娠や子育てには費用がかかるから、その支援があっても良いと思います。また、夜には真っ暗になるくらい街灯がない。
支援 援、 を安	分娩ができる病院やクリニックが城陽市にはないため、城陽市で出産できる施設がほしい。乳幼児を遊びに連れて行ける公共施設を増やしてほしい。地域子育て支援センター「ひなたぼっこ」や幼稚園以外にも同い年の子どもや赤ちゃんが集まる場所がほしい。高校の無償化を所得制限なしにする。児童手当を増やしてほしい。
療 心 体 •	妊娠・出産の支援。安心して子どもを出産できる支援。すべて無料にしていく。出産から高校まで無料。
制安の充実環	妊娠・出産時にかかる費用(医療費など)や子どもの医療費の無償化。子どもの遊び場の充実(公園や室内子育て施設)と利用しやすくなるサービス(市民は駐車料金無料など)。英語教育の充実と発展の機会(幼少期から参加できる英語イベントやネイティブの方との交流の機会を作ってほしい)。プログラミング教育の充実と発展の機会。
等境整	小児科を増やす。支援学級の教師の充実。
備、	安全・安心に産めて育てられる環境を城陽市が保証する(産院、産後サポート)。生誕後も伸びていける環境を構築する(学童の居場所、IT環境)。医療、教育へ傾注が必須。
	城陽市に産婦人科がないので誘致してほしい。休日、子どもの体調急変で病院へ連絡したが、全て断られ救急搬送となった(京田辺市の病院で入院)。休日を含む夜間などでも対応してもらえる環境があれば良いと思う。共働きが増えるなかで、特に小学校での学童保育の充実を図ってほしい。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと				
子どもの健康支援や医療体制の充実、地域ぐるみでの子育て支援が、一位事と家庭の両立や多様な働き方への理解の促進、	仕事と家庭の両立。孫がいます。孫に7か月、3歳の子どもがいます。仕事に行きたくても行けません。家のローンを 払っているので大変です。若いお母さんは大変だと思います。				
	共働きができる子育てがしたいと思います。子どもを育てる不安が増えている。				
	働きやすい子育て支援企業の誘致。				
	子育てしやすい環境づくりや安定して働ける職場。高齢者施設の充実や人手不足対策、労働環境対策。様々な問題や気になること、ちょっとしたことでも気軽に相談(話を聞いてもらえる)できる場所。				
	企業の子育てに対する理解。				
	金銭支援。出産後、共働きでも子育てできる施設、スタッフの拡充。				
	妊娠・出産、仕事と家庭・子育て、保育園も十分でない時代、女性は本当に大変でした。「女性が働きやすいまち 城陽」をメインにお願いいたします。				
	保育園に4月入所する場合、入園式後からの預かり、慣らし保育になると、4月1日からの職場復帰が難しくなるため、4月1日から職場復帰しなければならない家庭の子どもたちだけでも3月中から慣らし保育をしてもらえるとありがたい(他の市町村では可能と聞いたことがある)。支援センターの数を増やす。医療費無償化。公園の整備。木津川病院に24時間救急対応の小児科医をお願いする(宇治市、京田辺市に行ってくださいというのはいかがなものか)。				
	男性の家事、育児への参加具体的に話し合って互いに得意分野などで役割分担する。成年、親世代へのしつけと虐待の違いの教育、祖父母世代への教育のあり方の変化への理解。自治会の存在のありがたさ、活動への参加促進。児童の子ども会参加で地元のつながりを促進する。				
	手当の増額、減税。各企業への有給休暇取得率の調査。				
]反	共働きの家庭は一時期、仕事と家庭の両立について悩むこと、考えてしまうことが多いものです。その時期には職場の同僚などに理解してもらえるような取り組みも大事だと思います。				

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと				
	通学路が狭く、ガードレールがなかったりして車通りも多いので、安全に通学できるように整備してほしい。				
	道路、歩道が狭い。				
	道路が子どもの通学時に危険だな感じることがあり、カーブミラーや信号機などの物理的フォローを積極的に取り入れていただけたら安心できるかなと思います。				
	ベビーカーを楽に使えるように歩道を広くしたり、駐車場のスペースを広げる。				
	道の整備。マナー、エチケットを教示する機会。				
	歩道の整備をしっかりしてほしい(新池交差点からアルプラザへ行く歩道がガタガタで歩きにくい)。近鉄久津川駅ま での東西の道が、子どもたちの通学路でもあるのに車に近すぎて危ない。				
_	狭い生活道路の整備をよろしくお願いします。				
安 心 •	特に城陽高校の裏側あたりの環境整備を希望します。				
安 全	歩行者が安全に歩ける道路づくり。				
な 環 境	駅前に店もなく(閉店)、夜道が危険な雰囲気がある。				
整備	歩道が狭かったり、埋め立てが汚くでこぼこしている道が多く、歩行者に優しくない現状をどうサポートするか。				
	歩道が狭い、暗い。街灯の増設。				
	危険な道路を改善してほしい。				
	死角になる場所の防犯ミラーの備え付けおよび防犯カメラの取り付けをお願いしたい。				
	通学路の見直し。				
	道が狭く、自転車や歩行者が危ないと感じる場面が多いため、道路整備がもう少し整ったら良いなあと思う。				
	近鉄久津川駅前の東西道路の拡張。歩道・自転車道の確保。停止線や横断歩道のはげているところを塗り直してほしい。				
	安心、安全な環境整備。				

÷+-				
主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと			
F .5	京都府外から城陽市に嫁いできたのですが、運転される方のマナーがあまりにもひどい時が多々あります(横断歩道で も停車されなかったり、細い道でもスピードが出ていたりなど)。ドライバーのマナー向上に向けて、もう一度講習を 受けてもらったり、意識を変える取り組みをしてほしいです。また、道路がガタガタで歩いたり、自転車やベビーカー は一苦労です。			
· 10	安心・安全に関しては、市内の学校に登下校通知サービスを取り入れてもらうと良いと思います。仕事と家庭の両立な どはPTAについてもう少し現代風に組織のアップデートが必要かと思います。			
<u>+</u>	安全な公園や公共施設への整備。子ども同士のふれあいの場。			
境	以前配布されたマップに危険な箇所が書かれていたのでカーブミラーを付ける、人目のつかない公園の安全策など改善策を考えてほしい。			
整備、	公園をもっと増やしてほしい。車道や歩道が狭い(歩道がない道も多い)。公園の雑草などの整備。			
園等	市役所から近鉄寺田駅を通る府道282号など交通量が多い割に歩道が整備されておらず、ベビーカーを押しながら上の子どもと手をつないで歩くことが難しい。片側だけでも2〜3人並んで歩ける平坦な歩道を作ってほしい。幼児(4〜5歳)や小学生向けの公園は一定存在するが、乳幼児向け(1〜3歳)の遊具がある公園が少なく感じるので、小さい子も遊べる公園がほしい。			
整点	子どもが通る道で、車道や歩道が狭いところが怖いです。JR城陽駅の不便さ(ベビーカーでスムーズに改札へ入れない)。産後のデイケアで子どもを預けられる施設がほしい。JR城陽駅周辺にスターバックスなどの飲食店や商業施設を充実させてほしい。			
1	近鉄富野荘駅から市街地にかけての寂れた景観(主要道沿いが倉庫、駐車場、ボロボロの家屋ばかり)の改善。文化や 芸術に関する博物館、美術館の建設、運営(現在の歴史民俗資料館しかない状態が貧しいと感じる)。			
	子どもの居場所づくり、たとえば自習施設や公園の整備。子どもの気持ち(葛藤やしんどさ)を吐き出せる場所(家族 や学校の先生にも言えない、心の内を聞いてくれる人)を増やす。			
t	地域ぐるみの色々なイベントを企画して、町内レベルの交流をベースに子育てする。			
地	それぞれの悩みを共有できる機会、居場所をつくること。			
	子どものコミュニティと子育てをする親のコミュニティの場を設けて見守れるような環境になるように取り組むのが良いのかなと思いました。			
みず	登下校での見守りなど、たくさんの方に子どもに関わっていただいていることは働きながら子育てをしているうえで、 非常に助かっています。これからも引き続きお願いします。			
	子育て支援について最近の若い人は地域の密着が悪く、自分だけ良ければとの傾向がある。以前は、シルバー人材が子 どもに声をかけコミュニケーションしていたが、子どもを見守る自治が必要。			
7 I	地域ぐるみでの子育て支援、青年部、婦人部、老人会、自治会が一体となって地域ぐるみで子育て支援を行うよう、具体策について話し合いを行って実行例を出し合い、実行したらどうでしょうか。			
援	現在の状況は昔と違って「向こう3軒両隣」という風潮はなく、自治体への関心もなくなっています。世の中の変化が あり、なかなか親しみが持てない世間になっているので寂しいです。			
Į.	高齢者と子育て世代の交流や協力。			
	子ども達の通学に見守り隊の方が見守っていただき心強い。高齢化により継続されるものか、将来に不安はある。啓発 活動などにより、地域で子どもを守る意識を高めることができれば良い。			

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと				
教育の充っ	大学の授業料の免除。				
	保育園の無償化。				
	給食費の無償化。				
	子どもが安心して授業を受けることができる学校づくり。				
	子どもを安心して預けることのできる場所づくり。				
	以前、宇治市に居住していた時、城陽市は給食があると教えていただきました。子育て中に大変助かる支援だと思っていました。子育てが済んでいる今、すぐに何かとは浮かばないですが、親御さんたちが仕事をしながら助かることがたくさん出てくると思います(子どもの健康の支援として、食事についての支援方法)。				
	寺田西保育所が閉鎖されたのはショックだった。近くにあったので正直助かった。特に嫁が送り迎えする時は自動車に乗っていないので、あの位の距離でないと無理だった。「ポストの数ほど保育所を!」というのはなるほどと思う。				
	保育士の待遇改善。				
	高校までの学費無償化。児童手当の増額。				
	夏休み中の学童保育の給食があれば、保護者の負担がなくなって良いと思います。また、学童に行っている子ども以外でも、各校区に自由に行ける居場所を作れば学校に行けていない子どもの現状把握、支援につなげやすくなるのではなないか(支援員が常駐していて、宿題ができる場所など)。				
実	学費などの支援。				
	子どもに色々な習い事をさせたり、経験をさせたいのですが、仕事の拘束もあり、自分たちでするには難しいです。学 童の時間に希望者のみ月謝徴収で構いませんので、市で学校の敷地内で習い事をしてほしいです。体操、英語、プログ ラミングなど学童を嫌がる子が多いので、内容を充実させてください。				
	幼児教育、給食などの無償化。				
	古川小学校のトイレの洋式が非常に少なく(28.6%)、短い休み時間に1つの洋式トイレに並んで待っているのが現状です。「子どもに優しい城陽市」として計画を見直し、早急にご対応いただきますよう、よろしくお願いいたします。				
	子育ての現場、教育現場などへのマンパワーの充実をぜひともお願いしたいです。予算面で難しいこともあると思いますが、小学生児童の放課後デイサービスの活用などはとても良いと思います。				
	2人目以降、保育料を無償化(枚方市)などうらやましいと感じます(城陽市に家を買ってしまったので)。介護のことなども全く知識がないので、いつどんなことが起こっても困らないような支援があれば嬉しいです。				
	学校の設備を綺麗にする。自由に遊べるような公園をつくるといった子どもたちが快適に過ごせるような環境作りを少しずつでいいので、進めていくのが良いと思います。私が小・中学生だったころに教室にエアコンが設置されたり、新しい運動公園ができたりしたことが印象に残っています。				
	小さな子ども(O~5歳)を預ける場所や時間が充実しているところがあったら、若い母親は働けるのではないか。				

> +-	
主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
教育の充実、妊娠・出発	子どもの長期休み(春休み、夏休み、冬休み)やテスト期間中も給食を出してほしい。また、高校まで給食を食べさせてほしい。子育てしやすい環境を作ってほしいです。
	ふたば園に小学生も引き続き通えるようにしてください。給食を無償化してください。
	私達の世代は小学校時代に「修身」という科目がありました。今は自己本位で自己中心的と考える若い世代、子どもなどが多いと思う。教育は大事だと思います。何事にも思いやり、道徳教育が大事だと思います。
	仕事と子育てを両立するには安心して子どもを預けられる施設が必要だと思います。保育士は激務のうえ、低賃金だとよく聞くので、保育施設への支援をして、まずは保育士の方々が働きやすい環境を作るのが大切ではないかなと思います。
	子どもの預かり所の拡大。
康・	高校までの教育費の無償化の実現。
の支援や医療産後の支援、	保育料をO歳から無料化(働くのに高い保険料を払っていては結局、少しの足しにしかならないため)。コミュニティセンターなどでO歳児が参加できるものが少ないと感じました。育休中は家や公園などで過ごすことが多く、無料のベビー体操や絵本の読み聞かせがもっと近くでたくさんあればと思いました。母親のリフレッシュにもなりました。育休中しか利用できないので、色々O歳児のうちに行きたかったです。
体制の	子育て中の親にとって「ひなたぼっこ」のような地域子育て支援センターがあるのはとても助かり、安心できる。ただこのセンターは深谷(東地域)のみで、南・北・西地域にもあればもっと利便性が良くなり、助かると思う。ぜひ、あと3か所開設してほしい。また、妊娠・出産の困りごと相談もあれば心強い。
・安全なる	教育に力を入れれば若い世代や子育て世代の人が集まると思う。そのためには安心して暮らせる環境も必要だと思う。
環	道路交通では、都市計画の見直しを図る。近鉄寺田駅西口、さんさんバスの運行時間の見直し。子育てでは、待機児童 の絶無、通学路の整備。
境整備、	高校まで学費無料、医療費無料。
	託児所や保育所の整備。子育て世代への援助金。二世帯家庭や住宅への援助。
	早朝・延長保育、学童保育の充実。大学までの学費の補助金充実。ボール遊びや自転車の練習など子どもが安心して遊べる公園の充実。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと			
子ども	子育て環境がとても悪く、小さい子どもを持つ親として、とても困る場面が多いです。行政主導の健診も赤ちゃんにとって保護者にとって大切なことなのに、全く寄り添っておらず、誰のための健診なのか疑問だらけです。市民の声が全く反映されておらず、これから先もっと市民の意見を取り入れた内容に変えていくべき。			
	3歳児健診などで弱視の検査をしてほしい。			
	施設使用や検査、予防接種などの無償化。			
の 健	病院の整備。気軽に声を挙げられる環境づくり。			
康の	子どもの生命・身体の保護のための体制の確立。 現状の施策を補完する施策の検討・策定(いずれも市民活動レベルで 実現・継続可能なものに限る)。			
支 援 や	医療費無償化の対象となる子どもの年齢拡大。			
と医療体制の充	できるだけ子どもの医療費の無償化、割引を進めた方が良いのではと思います。			
	子どものみ、現在のワクチン接種(自費負担のワクチン)を公費負担にしていく。インフルエンザなど任意のものも半額を公費負担にしていくなど、出来る限り子どもにとって必要で重症化すると危ない病気のワクチン接種を幅広い子どもたちに届け続けていけるようになったら、さらに良いのではないかと思います。			
実、	高校生(18歳)までの医療支援(月200円で受診できる支援の延長)。同じく、インフルエンザ予防接種の若年層への支援。高齢者だけでなく、特に12歳まで(2回接種が必要)が負担が大きい。			
安 心 •	どの項目も難しい問題ですが、幼児の医療費無料化。夫婦共稼ぎが多い昨今、男親だけの収入で生活できる社会の実現。子ども手当の増額などが考えられる。市としても財政面で難しいと思いますが、個人の意見として思っていることです。			
安 全 な	近くに小児科がない。			
環 境	府外から引っ越したばかりで思いつきません。以前住んでいたところより、充実していると思うので住みやすいです (子ども医療費、陣痛タクシー、一時保育事業など)。			
整 備 等	子育て医療支援がO歳〜中学生まで手厚いことは大変ありがたいのですが、高校生になるとなくなるので、負担の ギャップが大きい。高校生対象に少しでも支援があると、一気に負担を感じずに利用期間を利用できると思う。			
	夜中や休日の救急に小児科を置く。防犯カメラの設置。通学路のガードレール。			
	公園の整備(遊具を綺麗にして増やす)、子どもの医療費を無料にする。通学路の安全化。「城陽五里五里の丘」の キッズスペースに幼児用の遊具があるととても嬉しいです。大小のジャングルジムがありますが、あれは小学生位に なってからかと思っています。すべり台や幼児用のブランコがあればなあといつも思っています。			
のある.	障がい児(者)に対する環境整備、城陽市が保管している建物などを有効活用し、障がいのある子どもから大人まで、 生涯生きる喜びを与えられるような福祉に優しい城陽市であってほしい。大きな法人がまとめて施設を管理するのでは なく、内容の充実した小さな施設でも参画できる福祉施策を実践してほしい。資金援助もお願いします。			
る子への支援いや発達に課題	私には障がいのある子どもがいます。家内とも話し合って、支援学校を卒業し、作業所に行っている状況でも、療育の機会を与えてほしいです。事件や事故が起こりうる可能性が高いスペースへの対応。			
	人材の確保、教育・研修。障がい児・障がい者や認知症患者への理解の啓発。子どもの居場所づくり。			
子ども	「子育て」に特化して言えば、私はたまにテレビなどで取り上げる「子ども食堂」に関心を持っています。城陽市としても運営していただけたらと思います。			
食堂	子ども食堂。			

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと			
ジャマンル その他(質問50	多様な働き方では、テレワークの促進。 安心・安全な環境整備では、放課後や土日の校舎を活用して習い事や学習塾に通えるような仕組みづくり。多数の大人がいる場所なので安全性が高まるかと思います。また、交通量の多い通学路のある地域では、通学バスを検討したり、スクールゾーンにする。 教育の充実では、社会や環境についての意識を高めることが重要ではないかと思います。 農業、漁業、畜産業の体験を通じ、食や命への意識を高めたり、ほかにも人手不足と言われている職業、林業やものづくりの職人など幅広い職業体験を必修することが大事と思います(多様な働き方、生き方につながる)。また、小学生から政治、選挙について学ぶ機会をつくることも大事と思います。 子どもの健康支援では、子どもの予防接種については安全性への懸念の声もあり、予防接種による健康被害の事例など、長期にわたる調査・研究をするべきだと思います。また、海外では健康、環境への危険性が認知され、使用不可となった添加物や農薬、除草剤などが認可されており、広く使用されています。その点の規制を始めるとともに中学3年生までの給食(無償)を有機栽培・無添加のオーガニック使用に移行していくべきと思います。心身の健康において、大きい遊び場(特にボール遊びができる場所)も必要だと思います。 大きい遊び場へはシャトルバス(子どもたちは無料または低額料金)があるといいなと思います。 「障がいのある子ども達とそうでない子ども達との交流で互いの理解を深めていく。また、大人も含めた交流や勉強会などもあるといいなと思います。 テともの貧困では、貧困には様々な原因があると考えられますが、心身の健康も原因の一つだと思いますので、上記のような対策が必要だと思います。また、無償の給食はもちろんのこと、昨今はライフラインも脅かされていると思います。水道の民営化によって、水が使えない、飲めないという事態が国内外で起こっています。特に生活困窮者には命を脅かすものと思います。きだと思います。			
	選択した項目のすべて。			
	設問5では3項目を選択しましたが、すべての項目が少しずつでも良くなればいいですね。			
	設問5の項目すべてで行政の支援が必要です。			

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと				
	豊かに住みやすくなると嬉しいのではないか。				
	回覧板や地域の掲示板などで、生活のなかで困っていることを共有するシステムの導入。				
	住宅建替等の工事が増え、足場のシートにより外部からの死角が増え、強盗、空き巣が増えるのではないか心配している。				
	子育て世代ではないので詳しくは答えられませんが、他の市の中には色々と支援が上がっているので、城陽市でも何か 支援があっても良いと思います。				
	将来子どもが大きくなった時、城陽市に住んで良かったと思える子育てを、他都市を参考にして城陽市が一番と思える 諸策を!				
	親の考え方、子育てについて今の時代に合っているか、父親はどうあるべきかなどを考える場を作ってほしい。				
	親であっても、子どもの人権侵害は別問題だと思います。子どもは常に親を見て考えて、振り回されてしまいます。 私も以前、子どもの頃そうであったように、そういった子どもは一生涯、両親に振り回されて、未来や将来などが奪われる。一人でもそういった不幸な子どもたちを無くすため、第三者がもっと協力できるような機関を増やしてほしいです。				
	子育てを終わった世代ですが、2世代、3世代が同居できるための支援、援助の強化。若い世代が働きやすくなる子育て支援となる。子どもの安全対策となる。				
	低所得者だけ、母子家庭だけではなく、共働き家庭にも金銭的支援をしてほしい。				
	無償化。				
	若い人たちが長く住める環境を良くしていただきたい。				
そ	高齢者用の医療制度。子どもたち用の演劇を増やしてほしい。				
の 他	自殺防止、若い命が断たれるのは辛い。命だけは断たないでほしいです。今、辛い時でも生きている間、何がありうるか分からないことを知ってほしいです。				
	農業の高齢化について。				
	文化パルク城陽の充実した運営をしてください。現在赤字ですので、全般的に使用してほしいと思います。各地でラジオ体操をしてほしいと思います。				
	私の子どもの生活は終わりましたが、子どもの傍で顔を見ていてほしい。				
	ドラッグストア、病院、老人ホームなど医療・介護の施設も必要ではあるが、印象としてドラッグストアばかりどんどん増えて、子どもや家族が遊べる娯楽施設が少なく感じる。「これでは若者は外へ出ていくし、増えないよなあ」と夫もこぼしていたので、前向きに検討してほしい。				
	低所得者以外の支援。				
	補助金の増加。ふるさと納税の強化。				
	少子高齢化の社会にあっても全国には子ども人口が増加している市町村があると思います。その要因を詳細に調査し、 城陽市でも取り入れ可能な施策があれば、採用を検討してみてはいかがでしょう。				
	子どもを持ってる家庭へ支援金を配布する。				
	出産・育児・教育を応援するための手当、補助金、給付金の充実。				
	一時的に数万円ばらまくことの意味のなさを考えてほしい。				
	まずは子育て中の家族が何を求めておられるのかを知ることから始まると思います。子育ての基本は、世代交代しても同じだと思います。親子で基本を大切に。「心」こそ大切です。				
	東京都や明石市のような子育て支援。京都府内の自治体はどこも同じような支援しかないので、目立つ支援があれば良いのにと思う。				

注:記述による回答については、漢字への表記替え、句読点や誤字・脱字の訂正、表記の統一以外は 原文のまま掲載しています。

5-3 参加者のアンケート結果

(1) 城陽未来まちづくり会議に参加してみて

「城陽未来まちづくり会議(55 人委員会)」終了後に行ったアンケートでは、参加 された35人のうち34人からご回答いただきました。

アンケートによると、回答者34人のうち、32人が「良かった」と回答しています。

	良かった	良くなかった	どちらでもない	無回答
件数	32件	0件	1件	1件
割合	94.1%	0.0%	2.9%	2.9%

(2) テーマ「あったらいいな~子育て編~」について思ったこと、感じたこと

テーマ「あったらいいな~子育て編~」について思ったこと、感じたこと

実際、自分が城陽市で子育てするにあたって思っていたことを積極的に伝えることができました。グループディスカッ ションすることで共感する意見も多かったです。悪い部分の改善も重要だが、市独自の魅力的なアピールポイントを作る ことも子育て世代の引き込みに繋がると感じました。

知らなかった情報や皆さんの思いが聞けて良かったです。

こういうイベントを開催して、住民の理解を深めることも今の社会には必要かなあと思いました。それが住民の住みたい 満足度向上になるかと。

今回の未来まちづくり会議に参加させていただき、ありがとうございました。 皆さんが日頃感じていることを素直なかたちで発言されていたように思いました。

祖母から「子どもは国の宝」と言われていたことを再認識した次第です。

児童、生徒をサポートしている私にとってとても勉強になり、今後の仕事にも張り合いができました。

またこのような機会があれば、是非とも参加させていただきたいと感じました。

普段の子育てや生活の中で気になっていたこと、こうなると良いなと思うことがたくさんあったため、それを言葉にでき るのは非常に良かったです。

学生さんから年配の方まで様々な方の意見が聞けて良かったです。

真剣に考える方がたくさんいて、とても面白い会議でした。自分自身の子育てがまだなので当事者目線の意見は出せませ んでしたが、自分が子育てをする時どんな制度があればありがたいとかを考える良い機会になりました。

色んな世代、現役の方と様々な視点から城陽市のこれまで、今、未来のことについて話ができて良かったです。

幅広い年代の方がいて、各々の視点から話をされたのが面白かったです。

今回参加するにあたって、事前資料や市のホームページを確認したりしていたのですが、子育てアプリや妊娠・出産までの面談など様々な支援があることを初めて知りました。ただ、調べればこのような情報にたどり着くことができますが、 普段生活しているなかで知る機会はなかなか少ないと思います。市民の方にも目に留まるようなかたちで、情報発信して いただけると、地域ぐるみでの子育てにも活かすことができるのではないかと思いました。

また、城陽市は出産できる病院や小児科のある病院が少ないので、そのような状況に置かれたときの不安は大きいかと思 います。病院の誘致は難しいと思いますが、いつでも相談できる窓口があればすごく心強いと思います。

2時間という限られた時間ではありましたが、有意義な時間を過ごすことができました。また他の方の意見を聞くこともで き、とても勉強になりました。今後、城陽市がさらに住みやすいまちになれば良いなと思います。本日は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

テーマ「あったらいいな~子育て編~」について思ったこと、感じたこと

今回の記録が実際にひとつでも実行計画に移って、市議会などで議題にされると良いなと思いました。

グループワークの形だったが、年齢層にうまくバラつきがあり、とてもよかった。 普段接することのない年齢層の方もいらっしゃり、別視点での考え方に触れることができた。 1点だけ、事前配布資料の「城陽市の子育て施策」に「市としてどのような子育て施策をされているか」の具体例が少なかったのは少し残念だった。啓発・強化・充実はいいのだが、何をなされたのか想像ができなかった。

現在、安心して子育てできるとは言い難い状況のようで、子育て世帯にはなかなか厳しいなと思いました。 参加された方の年代は幅広くて良かったです。

私はまだ19歳なので、これまで子育てについての話をしたことも聞いたこともなかったからとても貴重な経験でした。 みんなが普段思っていても言えないようなことを気軽に言い出せる環境がとても良かったし、少子化が進むなかで子育て を頑張っているお母さんたちが、もっと楽に生きられる市にしていくためにとても良いテーマだと思いました。

現役の子育て世代や若い世代の意見を聞くことができたので、子育ての支援についての理解が深まり、非常に有意義でした。

まだまだ、城陽市としての課題はたくさんあるなという風に感じました。グループワークで実際に子育てをしてらっしゃる方のお話を聞いていて、課題ばかりある訳ではなくて城陽市の一部では子育てのしやすい環境があったという体験話を聞かせてもらったりとか、会議の中で楽しそうに子育てをしていらっしゃる姿を見て、城陽市はまだまだ子育てのしやすい環境作りをしていける素晴らしい地域だということを感じました。

どのような施策をするかだけでなく、それをいかに周知するかも大事だと感じた。

普段感じていることを市民の皆さんと共有できてとても良い機会でした。年代、性別問わず意見できる場で、勉強になりましたし、私自身すっきりしました。

役所の皆さんには、ぜひ早期改善していただけるように動いていただけたらと思います。

世代に合わせた情報伝達の仕方としてSNSを活用すること、駅から遠く不便なことが多々あるため無料バスのサービスなどがあったら良いなと感じた。

このような機会をいただき、改めて城陽市での子育てについて考えることができて良かった。 他の方の話も聞け、困ってるのは自分だけではないんだなと感じた。

私のグループは子育て世代の方が多かったので、様々な意見をお互い出し合えて良かった。自分が気づいてなかったことや、困っていなかったことも聞くことができ、新たな気づきになった。

城場市で子育てして生活するにあたり、不満や文句だけではなく、良くなるにはどうしたら良いかを考えることができて良かった。お金の面での支援は目に見えて嬉しいし求める人が多いが、それだけでは子どもは増えないし生活が潤うわけではないと思った。もっと違う面での支援や関わりが必要なんだと気付けた。

色々な意見があることが、知ることができて良かったです。自分では思いつかなかったことばかりで、勉強になりました。このような会議があったことを、周りにも話したいと思いました。

なるほどと感じる、他の市民の方々から意見を聞くことができた。定期的に開催して欲しい。

妊娠、出産の支援費をもう少し充実させてほしいと感じた。そうすることで子どもが増えたり安心して出産できるのでないかと思う。

子育てをまだ経験していない若い世代なので、実際に子育てをしている方からお話を聞けたのが良かった。私が思っている課題と実際の子育て世代が考えられている課題は違ったので勉強になることが多かった。

テーマ「あったらいいな~子育て編~」について思ったこと、感じたこと

子どもを育てるとお金がすごく必要になる。税金、物価、ガソリン、価格が上昇するなかで子どものいる生活、子どものいない生活。小学校前の道路が狭く、車通りがすごく多くて危ない。城陽市に小児科が少ない。

思ったよりもたくさんの意見交換がされていたと感じた。子育て世代、若い世代など年代に合わせたグループワークはなかなかできないものだと思う。オンラインでの会議なので実現するものかと思いました。あと、時間が余って雑談のように進んだことがあったが、メンバー同士で意見交換できる話し合いの場があっても良かったと思う。

何でも無償化と言われる方が多いと思います。財源的にも限りがあるので、まず安心して育てられる病院の拡充(リスト化など)や安心して通学できる環境づくりをお願いしたいと思います。個人的には行政にお願いすることは多くあると思いますが、個々でできることは個々で、大きな枠の環境づくりをしていただければ良いと思います(無償化に越したことはありませんが)。

子どもを生みやすい環境づくり、また幼児から学童までの養育費の負担軽減をするなどして子どもがどんどん成長するまちになれたらと思います。

城陽市の子育て政策について、いただいた資料から次々と費用の助成や妊産婦の心身サポートなどに取り組んでくださっていることが理解できました。今回私たちが会議で話し合ったことの一部でも取り上げてくださり、施策として実施していただけたらと思います。会議に参加された皆さんの意見をうかがえて、同じように課題と感じていること、城陽市に対しての希望が色々あることを共有でき、大変勉強になりました。

参加したグループでは、出産経験のない方が半数でした。お聞きした意見から、色々な不安を感じておられることを知りました。しかも、金銭面ではなく、ワンオペ育児、産後うつ、妊娠期も含めたもしもの病気、精神的に孤立してしまう事態などへの不安でした。政府の進める所得や費用への対策とは距離があるのかもしれないと感じました。子どもはもちろん、母親や子育て家族を孤立させないこと、精神面でのサポートやケアを充実させていくこと、そのために必要な施設の拡充や人員配置にお金を費やしてほしいと感じました。総じてとても有意義な時間を過ごせたことに感謝です。

私のグループは子育て世代の方が私以外にもおられて、大体思っていること、改善してほしいことは同じでした。ほっとしたと言うか、何と言うか。でも、城陽市にすればやりやすいのではないか。求められていることは決まっているので、何からやるか、何からやるべきか(大事か)を見極めていただき、一つずつ良い方向に行けばと思います。他県や他市などがやっていることを調べてもらい、できそうなことから少しずつ取り入れていってほしいと思います。 子育て世代の親として、子どもに対してどんどん色々なことをやってくれる(イベントを含め)ことは嬉しいので、企画してほしいです。子どもたちもそういう思い出が残れば、大きくなったときこの城陽市を自慢して、この城陽市から離れたくないと思ってもらえるようになればと思います。

普段、関わることの少ない世代の方々と意見交換ができて充実したものになったと思いました。オンライン会議は慣れず、あまり上手くできなかったので迷惑をかけたけど、家から参加出来たことは子育て中の身としてはありがたかったです。

(3) 城陽未来まちづくり会議の運営について

城陽未来まちづくり会議の運営について思ったこと、感じたこと

とても貴重な経験でした。

自分の住んでる市について考えることも普段あまりなく、他者と意見を交えることで住みやすい環境に繋がればと思いま す。是非違ったテーマでも機会があれば必ず参加したいです。

グループディスカッションの時間が長く感じた。

初対面同士でどうしても意見についてディスカッションする感じになり、難しかった。 先に城陽市の取り組みや施策などもう少し聞ける時間があると良かったと思う。

ただ、このような機会があったので、市について考えることができたので良い施策だと思います。

グループ分けたあと進行役の人の難しさがあるのでは?と感じました。

マニュアルを強化して話しやすい雰囲気作りを目指す必要があるかと。

そうすることによって様々な意見が出るのではと。

愚痴ではなくいかに今後のためになる話に持って行けるかがこの会議の鍵かと。

会議結果をフィードバックしていただきたいと思います。

レジュメもまとめたものを事前にいただき、進行等はスムーズに行えていました。

こちらの意見に対し、同意や疑問を適時挟んでおられたので、こちらの意見もまとめやすかったです。

年に一回、このような会議があることはとても良い取り組みだと思いました。うまく市政に反映してくれればなと思いま

当日発表者役に選ばれて、O歳児の子どもを見ながらの参加だったため、少し困りました。途中画面から離れなければなら ない場面もあり、皆さんの意見を聞かない時、メモが取れない時もある中、最後にまとめて、発表までするというのは大 変でした。

事前に司会者を選ばれていて、発表者は当日の流れで決める形でしたが、誰も候補者がおらず司会者の方に当てられまし た。子どもの都合で場を離れる場面があるため、話し合いへの参加、発表時参加できるか怪しいですと、現状を述べてや んわり辞退を希望しましたが、お願いされました。現に会議、発表中数回席を立つ場面が出てしまい、ご迷惑をおかけし てしまいました。また、発表にむけて、意見をまとめないとと思うと、思うように自分の意見も述べきれずでした。自分 の意見を述べたり、皆さんの意見をお聞きできたのは、良かったのですが、発表者という重役を任されることになるとは 思っていなかったので、荷が重たかったです。

皆さん、手探りの中での会議参加のようでしたし、気軽に意見を出し合えるように主催者側で司会者、発表者共に事前に 用意していただるとありがたかったです。

スムーズに会議をすすめて頂きありがとうございました。

初めは少し緊張していたのですが、司会の方が全員発言できるように運営をしてくださったので、自分の意見をしっかり 伝えることができました。ありがとうございました。

突然の通知だったので驚きましたが、実際の市民の声として拾い上げてくれると嬉しいと思います。

今回、ご年配の方も若い方も子育て中の方もいらっしゃったが、特に大きな問題はなく会議が進められていたので、引き 続き、オンラインで実施していただけたらありがたいです。

55人委員会とあったので、55人参加されると思っていましたが当初予定より少なかったようで、そこが少し気になりま した。スケジュールの都合で参加できない方がいらしたのなら仕方ありませんが、もともと55人集まらなかったのだとし たら、そこから募集方法等の工夫が必要なのかなと感じます。

城陽市の発展のためにはとてもいい取り組みだと思うので、これからも回を重ねていっていただけたらと思います。

これまで特に、城陽市について考えたこともちゃんと見たこともなかったけど、とても優しい雰囲気で話しやすい環境を つくっていただいて、良かったと思います。

市民の意見に寄り添おうとしてくれているのが伝わって、これからもっと良い市になっていくのではないかなと感じまし

事前配布資料については、ワークシートの項目ごとに国・京都府・城陽市(+可能ならば京都市と宇治市)の施策をまと めていただければ、問題点の把握が容易になり検討が活性化したと思います。

また、システム面での問題はなかったと思いますが、Webexの利用中の操作についての資料があれば良いと思います。

グループセッションの実施に加えてグループの進行役が予め決まっていて、すごく話しやすい雰囲気を作ってくださった ことがありがたかったです。すごく良い会議だなと思いました。

城陽未来まちづくり会議の運営について思ったこと、感じたこと

非常にスムーズに進めてくださってありがたかった。

リモート参加で集まりやすかったです。本会議前の接続テストなどのフォローも助かりました。

自分の立場や子どもの年齢も変わってくるので、市の政策状況の報告も兼ねて、2~3年に一回ほど開催されると良いなと思いました。

実際に城陽市に住んで子育てをしている方達の話をリアルな声で聞くことができて、「あ、そうなんだ」と実感すること や今まで気付けてなかったことをたくさん知ることができた。

全体的に困ることはなくスムーズにいったが、私自身がオンライン会議にはなれておらず話しやすかったかと問われると、初めての方とネット間での様子を伺いながらの意見を伝えるのは少しやりにくかった。

素晴らしい会議に参加させていただけてありがとうございました。本当は面と向かって意見を出し合いたいところでしたが、オンラインの方が実は話しやすいんだなと思いました。

この一回で終わるのはもったいないと感じました。全5回とかにして長期的に議論していきたいと思いました。

市民一人一人いろいろ感じているんだなと思いました。

大好きな城陽。もっと良くなってほしいです。

(実は、今でも十分です。住みやすいし、いい街だなぁ~と感じてます。)

ありがとうございました。

司会進行をしっかりされていて話しやすかったです。

パソコンや携帯に疎い人の為に、市役所を開放しているのもとても良かったと思います。

話しやすい環境を作っていただいた。そのため、意見等を伝えやすかった。

他の方々とお話する機会があったことで皆さんの悩みや、改善されたらいい点など共有することができて良かった。

このような場が設けられているのが非常に良いと感じた。進行も分かりやすく良かったし、他の議題でも開催していってほしい。

色んな年齢の方々の意見が聞けて良かった。テーマが子どもってと思いながらも、話ができて良かった。城陽市がもっと 住みやすいまちになってほしい。参加させてくださり、ありがとうございました。

司会の方は、城陽市役所の方だったのでしょうか。グループの方々が出された意見、内容をぜひとも今後の城陽市のまち づくりにつなげてもらいたいです。城陽市のなかでも地域によって様々なことが違うのだなと思いました。貴重な時間に 参加させていただき、ありがとうございました。

参加者の皆さんが活発に発言され、子育てが中心でしたが城陽市の取組について話し合うことができたことをありがたく思います。「あったらいいな〜子育て編〜」について思うことは多くあると思いますが、立派でなくても今回の会議で声が多かった市民病院、産科病院に対してと、安全に通学できる道路環境(時間帯の地域住民以外の車の乗り入れを禁止など)を考えてほしいと思います。

初めてのリモートミーティングの体験で、現場ミーティングの空気感と異なり、ダイレクトに司会者の指示通りに運営されるので、密度の高い会議ができたのではないかと思われます。

魅力ある城陽市になれば、「このまちで生活していきたい」、「子育てしていきたい」、「子どもを生み育てたい」と人は自然に集まると考えます。城陽市が他市町村に負けない強み、「特性」を作り出せて行けるよう、未来に迎えるような会議になれば良いと期待しております。会議に参加させていただき、運営本部の皆様から丁寧に接していただきありがとうございます。お世話になりました。

オンラインでの参加が難しい、稀な参加者だったと感じています。それでも市役所の担当者の方々を始め、受託事業者の 皆様に丁寧に対応していただきました。ありがとうございました。

オンライン会議自体が初めてだったのでドキドキしていましたが、スムーズにつながり良かったです。今の時代に合っていて、オンラインな参加するという方も多かったのではと思いました。「市役所」でと言われると億劫に感じる人もいると思うので。時間もきっちり、司会進行も分かりやすくで良かったです。意見したことに対し、必ず一言以上答えてくださり、相槌も打ってくださり、とても話しやすかったです。参加できて良かったです。ありがとうございました。

オンラインでの会議で操作など分からないことも多かったのですが、親切に教えてくださり、助かりました。司会進行の 方もいらっしゃって話しやすかったです。ありがとうございました。

注:記述による回答については、漢字への表記替え、句読点や誤字脱字の訂正、表記の統一以外は 原文のまま掲載しています。

城陽未来まちづくり会議(55人委員会)報告書 令和6年(2024年)3月

【編集・発行】

城陽市 企画管理部 秘書広報課 〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノロ 16番地、17番地 TEL 0774-52-1111 (代表)

